

## 8-1-8 広報戦略委員会

### 1. 広報戦略委員会の概要

建設コンサルタントは、国内外の社会資本整備・維持の中で重要な役割を果たしてきている。しかしながら、その役割・存在価値を国民に周知理解されていないのが現状と言える。

一方、優秀な若者が興味と期待を持って活躍できる活性化した産業として、業界の担い手確保という観点から建設コンサルタントが認知されるためには、「安全・安心」、「経済活動」、「快適な暮らし」を支える基盤づくり、明るい未来社会のための基盤づくりを担う産業であることを多くの方々に理解してもらう工夫が必要である。

そのため、社会インフラの必要性・意義と、建設コンサルタントの役割・存在価値について、情報発信や広報活動を効果的かつ戦略的に行うことがこれまで以上に重要であり、協会としての戦略的な広報を実践するために、協会会員企業における個別の企業広報活動と協力しながら、国、関連業界、学会等の広報活動の取組みとの連携や、各団体での役割分担などに配慮して、効果的な広報のあり方を整理し、取組みを進める必要がある。

社会インフラをハード・ソフトの両面から支える建設コンサルタントの持続的な発展に向けて、広報戦略委員会は「建設コンサルタント(業界)」の存在を社会に知らしめることを基本理念に、「人材の確保」「選択と集中」「適切な役割分担」を活動方針として定め、広報活動を実践している。

### 2. 主な活動の記録

令和2年度の広報戦略委員会の活動は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、当初予定していた第1回広報戦略委員会(令和元年6月)が中止となった。

当委員会の下部組織である3つの専門委員会の活動も停滞、遅延していたこともあり、令和2年度の広報戦略委員会の開催は12月開催の1回にとどまった。

12月に開催した広報戦略会議では、令和2年度

の支部広報活動を確認するとともに、3つの専門委員会の活動内容を確認し、課題に対する協議を行った。協議内容は以下の通り。

(1) 令和2年度における支部広報活動のとりまとめ中間報告の確認

(2) 広報専門委員会活動

広報専門委員会の4つのワーキング(WG)の具体的な広報活動について協議した。災害時に着用する協会ジャケットの制作・配布状況、学生向けリクルート用資料、第11回建コンフォト大賞入選作品によるカレンダーの制作、新規企画である「土木×落語」の動画制作予定等に関する検討状況を報告。

国交省・他協会とともに大学等で実施中の建設関連業イメージアップ促進協議会の活動状況と学校説明会のアンケート調査結果を報告。

(3) 広報事業専門委員会

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大に配慮し、建コンフォト大賞、フォト大賞 Jr. を中止した。令和2年度の活動として学生論文の審査結果ならびに入賞作品の活用等について報告。

(4) 会誌編集専門委員会

協会広報誌「Consultant」の令和2年度特集テーマの報告と、発行予定の会誌各回の執筆状況を報告。

(5) 令和3年度広報戦略委員会の活動方針とスケジュール確認、中期行動計画の確認

(6) 令和3年度の事業計画案ならびに予算策方針、所要額調書を審議した。

(広報戦略委員会委員長 野崎 秀則)